

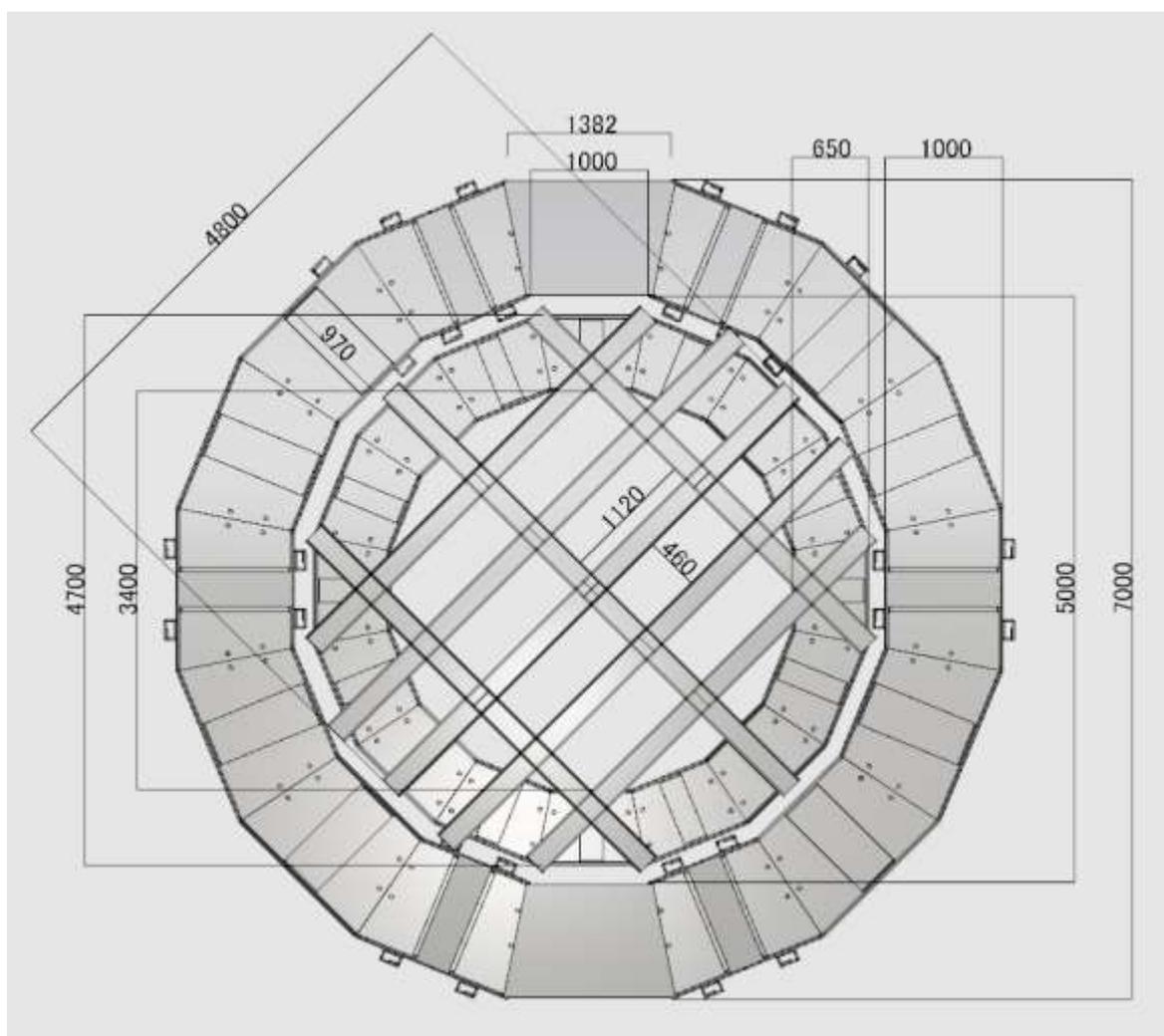
## 第5回廃炉創造ロボコン ルールに関する質問への回答

廃炉創造ロボコンは、NHK高専ロボコンとは実施目的や実施方法、評価の仕方は全く異なります。実施要項に記載されているように福島第一原子力発電所の現場で実際に活かされるアイデアと技術、ロボット製作を期待します。

Q1ペDESTALモックアップの詳細寸法について  
(プラットフォームの直径及び、開口部の大きさなど)

ペDESTALの設計寸法は下記の通りです。ただし、ダンボール製モックアップのため寸法に誤差はあります。

開口部の大きさは50cm×50cmを予定しています。



## Q2

ロボットはスタート時の全長が 1000mm に収まっていれば、競技開始後はあらゆる方向のサイズに制限はないのか。また、マシンが分離することは可能なのか。

NHK高専ロボコンとは異なり、特に制限はありません。ただし、福島第一原子力発電所内での使用が前提であることを忘れないで下さい。

## Q3

動力に制限はあるのか。

例)

- ・圧縮空気の使用（使用可能である場合、何 MPa まで使用可能か）
- ・ゴム及びバネの使用（使用可能である場合、競技開始前に人力で弾性力を蓄えることは可能なのか）

NHK高専ロボコンとは異なり、特に制限はありません。ただし、福島第一原子力発電所内での使用が前提であることを忘れないで下さい。

## Q4

意図的、あるいは偶発的にデブリを破壊してしまったとき、どのような処置がとられるのか。

NHK高専ロボコンとは異なり特にペナルティはありませんが、競技運営の妨げとなり、また他チームへ影響を与えるので意図的に破壊することはしないで下さい。ただし、デブリ取り出しに必要となる加工についてのアイデアは歓迎します。

## Q5

ペDESTALモックアップ外側の塩ビパイプは接地しているのか。また、浮いている場合、地面との隙間はどれほどあるのか。

アクセスパイプ（塩ビパイプ）はプラットフォーム上に置いて（載せて）あるだけです。ただし、足場組み立ての関係で 1 c m 程度の隙間が生じる可能性もあります。

Q6

競技の評価の基準として、

- ・回収するデブリの種類
- ・回収したデブリの数
- ・競技をクリアしたタイム

などの要素はどのように影響するのか

NHK高専ロボコンとは異なり、回収したデブリの種類や数、タイムなどの要素のみが評価に直接影響することはありません。福島第一原子力発電所内での使用を前提として、総合的にロボットの性能とアイデア、技術を評価します。

繰り返しになりますが、廃炉創造ロボコンはNHK高専ロボコンとは異なり、福島第一原子力発電所内での使用を想定したコンテストです。そのため、ルールに細かい記載、制限はありません。現場での使用を前提として、安全性や操作性も含めて考えてください。

以下、参考HPです

<https://www.tepco.co.jp/decommission/>

<https://www.tepco.co.jp/decommission/visual/>

また、廃炉創造ロボコンのHPも準備中です。準備が出来次第公開します。

2020/5/18

廃炉創造ロボコン実行委員会